

# 浜松市立佐久間中学校

## 令和6年度 第3回 学校運営協議会

<次 第>

※全体進行：教頭

- 1 日程説明 14：30～14：35
- 2 授業参観 14：35～14：50
- 3 会長挨拶 14：50～
- 4 校長挨拶
- 5 議長の選出
- 6 前回会議録の確認
- 7 熟議
  - (1) 9月のCS活動について（クリーンアップ、合同体育祭）
  - (2) 休日の部活動地域移行について
- 8 浜松市教育委員会教育総務課から
- 9 連絡
  - ・会長より
  - ・学校評価について

日 時 令和6年10月24日（木）14：30～16：00

会 場 佐久間中学校会議室（2階）

▶ **学校運営協議会委員・オブザーバ・ディレクター一覧**

☆委員

会長	高氏 秀佳	委員	鈴木 千穂
副会長	平賀むつみ	委員	笹野 訓子
委員(学校支援CD)	奥山 和子	委員	山本 巖
委員(学校支援CD)	向坂 美保	委員	塩澤 充彦
委員	古尾 春子		

☆オブザーバ

大見 芳	NPO法人がんばらまいか佐久間	長谷川陽子	佐久間図書館
鈴木 充宏	佐久間支所		

☆ディレクター

新聞千代子	校務アシスタントと兼務
-------	-------------

▶ **年間の学校運営協議会の日程**

回	実施日	時間	主な内容
第1回	4月5日(金)	14:30~16:00	
第2回	6月24日(月)	14:20~16:00 (含交流活動)	
第3回	10月24日(木)	14:30~16:00 (含授業参観)	・授業参観の様子をふまえ、基本方針に照らしての教育活動の評価
第4回	2月14日(金)	14:00~16:00 (含授業参観)	・学校関係者評価に基づく協議と来年度の学校運営の基本方針の承認等

▶ **生徒数および教職員一覧**

年組	男	女	計	教員
1-A	4	3	7	7
2-A	2	6	8	8
3-A	2	2	4	4
合計	8	11	19	19

1年	主任	内山 博文	生徒指導主事
	A組担任	河邊 友希	特活主任、総合的な学習
2年	主任	恩田 晴久	研修主任
	A組担任	内山 亜結	人権教育
3年	主任	森本美穂子	発達支援教育
	A組担任	藤田 至真	生徒会、道徳主任
	学年付き	内山美代子	進路指導主事

▶ **Memo**

--

令和6年度 第2回 佐久間中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年6月24日（月） 14時20分から16時20分まで
- 2 開催場所 佐久間中学校 会議室
- 3 出席委員 高氏 秀佳、平賀むつみ、古尾 春子、奥山 和子、  
鈴木 千穂、笹野 訓子、向坂 美保、山本 巖
- 4 欠席委員 塩澤 充彦
- 5 オブザーバー 長谷川陽子（佐久間図書館）
- 6 学 校 西田 亮（校長）、鈴木 政晴（教頭）、高原 英樹（教務）
- 7 傍 聴 者 0人
- 8 教育委員会 井島 健蔵（指導主事）
- 9 会議録作成者 CSディレクター 新聞千代子
- 10 会議記録

司会の教頭から、委員総数9名のうち8名の出席があり、会議が成立している旨の報告があった、また、会長が議長として議事を進行してもらう旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

熟議

（1）生徒の「自立的な学び」への支援について（感想と意見）

- ・ 昨年度と比較し生徒の雰囲気が大きく変化しているように感じた。地域についてもっと知りたい、調べて勉強してみたいといった意識が芽生え成長したように思う。（平賀委員）
- ・ 浦川小学校閉校のテーマについて、生徒達がよく見てよく考えていた。地域を愛している気持ちが伝わってきて頼もしさを感じた。（古尾委員）
- ・ 地域の歴史を調べることで、自身の居住する地域に愛着を持っていることを嬉しく感じた。今年のパンフレットや本、コーラのように、成果が形として見えてくると達成感につながると思う。（奥山委員）
- ・ ゴールが見えている子が多く、質問が具体的であった。自分の家で収穫するお茶について、もっと知りたいといった意欲は地域を大切にしたいと思う気持ちが伝って嬉しい気持ちになった。（鈴木委員）
- ・ 魅力は何ですか、といった生徒からの質問に対してうまく答えられているかどうか自分自身に不安があった。もっと良い答えがあるのではないかと自問自答している。今回の経験を真摯に受け止め、自身を見つめ直す良いきっかけとなった。（笹野委員）
- ・ 素直に聞いて受け止めようとしている。年々充実してきているのではな

いかと感じた。(向坂委員)

- ・ 大人との接し方がうまくなった。大人と話していても目を見て素直に話ができる。活動を通じ地域の大人と接する機会を得て、生徒の中で“おとな”への安心感が生まれているのではないだろうか。(山本委員)
  - ・ 何を聞きたいかはっきりさせて臨んでいた。聞いたことを素直に受け止めることができるようになったのは大きな成長であると思う。これまでの活動が実を結び始めているのだと思う。(高氏会長)
  - ・ どこへ行ってどうやって調べたら自分の目的に達することができるか、生徒達がよく理解し始めているように感じた。また、本を使って調べる生徒が増えたと思う。今後の課題として、何処の何時の何を知りたいのかといったところをもっと掘り下げていけるとよいと思う。(長谷川オブサーバー)
- 今後は終日探究活動の日(9/12)に向けて準備を進め、夢育やらまいか事業のCS加算6万円を充ててタクシー2台を借り上げ、取材、調査活動を深めることを確認し、承認された。

(2) 教育環境の整備について(教頭)

- ・ 昨年度同様、体育祭前に運動場の草刈りボランティアを募集する。
  - ・ チラシを作成し、8月上旬に自治会回覧版で周知する。集約は学校で行う。
- 学校CDの同意を得て、承認された。

11 報告

なし

12 連絡

(1) 健全育成会より(教頭)

- 健全育成会だよりについて、これまでの全戸配付から回覧とする。その他、主要施設に掲示する。配付に関しては委員に協力をお願いする。
- ・ 掲示の場合、文字を大きくして欲しいといった意見があった。

(2) 令和7年度協議会について(校長・教育委員会)

- 委員の多くが2期目2年目であり、R8年度に一斉交代になることを避けたい。第3回協議会でR7年度の継続、退任の希望を伺いたい。

(3) 次回会議の予定確認(教頭)

- 次回は、令和6年10月24日(木)午後2時30分から、授業参観に引き続いて佐久間中学校会議室で開催する。

## 運動場クリーンアップ作戦 報告（学校運営協議会主催）

日時 9月19日(木)8:30~9:30

場所 運動場・円盤投げサークル付近

### 参加者と内容

#### 【ボランティア】

関口弘一さん（中部・連続参加）

TELで申し込みあり。

草刈り機持参。

原多佳子さん（山香・修真母）

Webで申し込みあり。

草刈り機も準備できるが、草取りで参加。

鈴木ちえこさん（更女の会）

奥山さん経由で申し込みあり。

草取りで参加

野菊さん（分校技能員）

地域のボランティアとして参加

草刈り機（学校より）



#### 【学校運営協議会委員】

高氏会長 草刈り機持参

笹野さん 草取り

奥山さん（CD）草取り

向坂さん（CD）草刈り機持参したが草取り



#### 【学校関係者】

すず子さん（分校技能員）草刈り機で別の場所

堂森さん（中学用務員）草刈り機で参加

鈴木政晴（教頭）竹ぼうきで落ち葉片付け

#### その他

- ・ 雑草が生い茂る中心部は草刈り機を使って、点在する南フェンス付近の雑草は手で草取りを行った。一輪車に半分程度の草が取れた。
- ・ 学校で準備したもの：草刈り機（2~3）、いしみ(6)、一輪車(1)、ホー(5)、竹ぼうき(2)、お茶



2024/10/25 第7号  
浜松市立佐久間中学校  
文責：鈴木

# かがやき

▲今月の1枚：体育祭の開始を待つ中学生と分校高校生

## 中高合同体育祭を振り返って

9月26日、本校の最大の特徴である、中学生と高校生と一緒に創り上げる『中高合同体育祭』が行われました。高校生種目のフォークダンスには中学生が、中学生のソーランには高校生がとび入り参加し、リレーには中高の先生チームも参戦し、中学生と高校生、そして職員が一丸となって盛り上げました。ALTのイフェにとっては日本を離れる前、最後の思い出になりました。



徒競走前のインタビュー



フォークダンスに参戦



リレーはアンカー勝負に



よい天気に恵まれ、最高の体育祭でした！



借り物競走は仮装競争に



ソーラン、最後は組体操



今年は赤組の勝利でした

# 令和8年9月以降の浜松市における「休日の部活動の地域移行」イメージ図

平日

## ◎平日の学校部活動は継続

### 学校部活動

その学校の生徒が参加

【位置付け】学校教育の一環

指導者 教員・部活動指導員 ※外部指導者の参加は可能

場所 在籍する学校及び近隣施設

費用 用具・交通費等の実費

補償 災害共済給付

○学校部活動として大会に参加することは可能



【基本理念】浜松市は、生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動の実現(持続可能な活動環境の構築)を目指します。



生徒が自由に活動を選択できます



平日

休日

学校部活動 自由な時間

地域クラブ活動  
(部活動指導員による学校部活動)

自由な時間



休日

## ◎休日は「地域クラブ活動」へ移行

(体制が整わない場合は、「部活動指導員による学校部活動」を経て地域クラブ活動へ移行)



### 地域クラブ活動

どの学校の生徒でも参加可能

【位置付け】社会教育の一環

運営団体実施主体 中学校地域クラブ、スポーツ協会加盟団体、NPO法人、吹奏楽連盟加盟団体、総合型地域スポーツ・文化クラブ、民間事業者 等

指導者 地域住民、指導を希望する教員(兼職兼業等)、運営団体・実施主体が派遣する指導者 等

場所 学校施設、公共のスポーツ・文化施設、社会教育施設、地域団体・民間事業者等有する施設 等

費用 会費、用具代、交通費 等

補償 各種保険 等



### 学校部活動

その学校の生徒が参加

指導者 部活動指導員 ※外部指導者の参加は可能

場所 在籍する学校及び近隣施設

費用 用具・交通費等の実費

補償 災害共済給付



○部活動指導員は、単独の指導・引率が可能な市の会計年度任用職員

中学校は、学校運営協議会等で「休日の部活動の地域移行のあり方」について継続的に協議する。



浜松市  
中学校部活動



スポーツ庁・文化庁  
ガイドライン